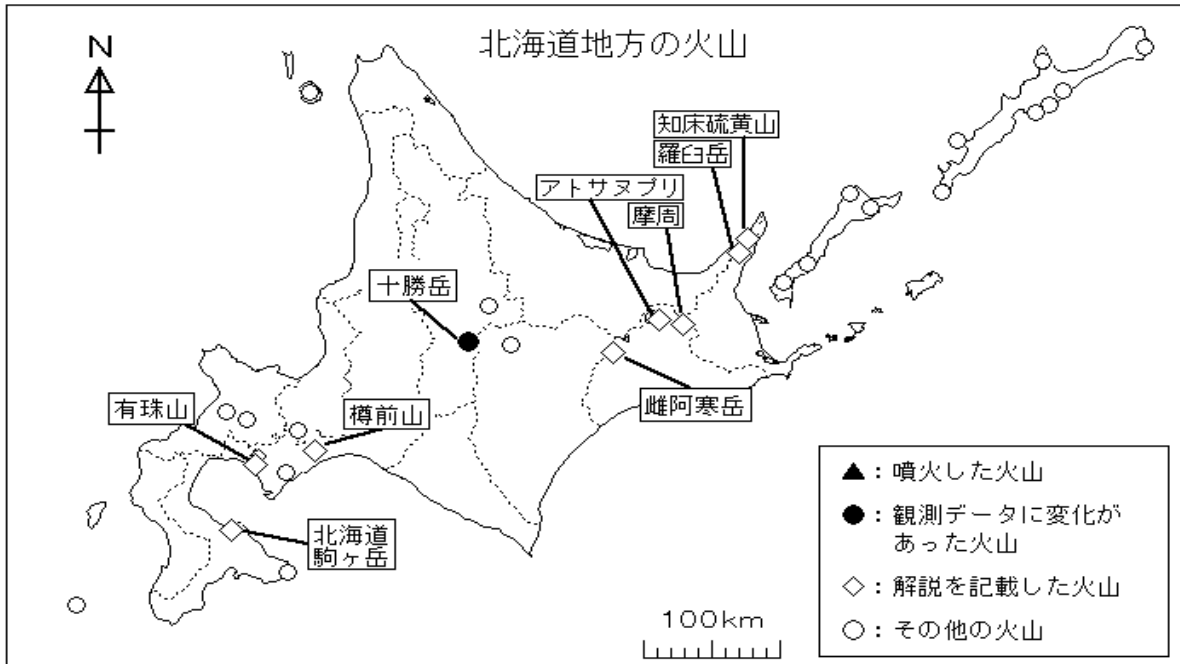


北海道地方の火山活動解説資料(平成 15 年 6 月)

札幌管区気象台 火山監視・情報センター



知床硫黄山

上空からの観測で、引き続き弱い地熱域が中腹火口で認められましたが、特に変化はありませんでした。

羅臼岳

上空からの観測では、噴気や地熱は認められませんでした。

摩周

上空からの観測では、噴気や地熱は認められませんでした。16日にカルデラ内を震源とする地震が発生し、弟子屈、中標津、清里で震度1を観測しました。

アトサヌプリ

溶岩円頂丘の周辺で噴気・地熱活動が継続しています。

雌阿寒岳

5月下旬から微小な地震のやや多い状態が続いていましたが、6月中旬には減少し、噴煙などの表面現象にも変化はありませんでした。

十勝岳

1日と15日に規模の小さな火山性微動が観測されました。62-2火口では活発な噴煙活動が続いていますが、これらの微動の前後で特に変化はありませんでした。

樽前山

A火口およびB噴気孔群では高温の状態が継続しています。この期間、顕著な地震の増加はありませんでした。

有珠山

火山活動に変化はなく静穏に経過しました。

北海道駒ヶ岳

地震活動、噴煙活動は静穏に経過しました。GPS観測では、引き続きわずかな山体膨張傾向が見られています。

次の火山活動解説資料(平成15年7月分)は8月8日に公表します。
 (札幌管区気象台ホームページ <http://www.sapporo-jma.go.jp>)
 (気象庁ホームページ <http://jma.go.jp>)